

聖書箇所：ネヘミヤ記4章1~23節

「雄々しくあれ！」

【1】 城壁再建の最中に起こった「妨害」

① 嘲り

- ・サンバラテ、アンモン人トビヤによる嘲り(ネヘミヤ 4:2~3)
 - 工事を行う者たちの士気を下げするため
 - 自信を喪失させ、城壁再建の意義を見失わせるため
- ・妨害者たちの動機 = 怒り(ネヘミヤ 4:1)
- ・ネヘミヤたちの対応(ネヘミヤ 4:4~6)
 - 生じた怒りや悲しみの感情を訴えた相手：神
 - 手を止めることはなかった

② 陰謀

- ・嘲りから陰謀へ(ネヘミヤ 4:7~8)
- ・ネヘミヤたちの対応(ネヘミヤ 4:9~)
 - 「そこで私たちは、私たちの神に祈り…」
 - 見張りを置いた

【2】 ネヘミヤたちを支えたもの

- ・執拗な妨害による城壁再建の危機(ネヘミヤ 4:10)
 - 疲労困憊した者たち
 - 気持ちが挫けてしまう者たち
- ・ネヘミヤの対応(ネヘミヤ 4:14)
 - 工事の目的の確認
 - 困難な状況の中で目を向けたもの

【3】 雄々しくあれ！

- ・聖書の教えに忠実に生きようとする時生じるもの：「(霊的な)戦い」
 - 信仰の自由を脅かす力との戦い(使徒 25:11)
 - 異端との戦い(コリ 3)
 - 社会正義の実現のための戦い(ホセア 10:12)
 - 異教地における聖書的文化の創出のための戦い(ヨシュア 24:14~15)
(参照 JECA クリスマンハンドブック第6版,41頁)
- ・霊的な戦いへの勝利のために
 - 絶えず祈り目を覚ましているように
 - 共に集まり、一つの心で祈り、主なる神を見上げ、励まし合う共同体へ

▷ 誰であっても一人で戦い続けることはできません。十字架に向かう主イエスもそうでした。礼拝をささげる私たちも、互いのために祈り励まし合いながら、主なる神を見上げつつ、戦いに打ち勝つことができますように。

「良き力に われかこまれ、守りなぐさめられて、
世の悩み 共にわかち、新しい日を望もう。」
(教会福音讃美歌 358 番「善き力にわれかこまれ」)

